

- 1 被害防止計画の作成数、特徴等
金沢市内では中山間地域を中心にイノシシによる農作物被害が深刻になっているほか、砂丘地域や河北潟周辺でもカラスやカモ、小動物による被害が発生している。このため、農業者、農協及び行政等が連携し、捕獲体制の構築・侵入防止柵の整備を中心に被害防止計画を策定した。
- 2 事業効果の発現状況
イノシシ等の獣害対策として、中山間地域における侵入防止柵を計画的に整備すると共に、捕獲檻による有害鳥獣捕獲、緩衝帯の設置、講習会等の実施により、総合的な被害防止対策に取り組み、地元農業者が主体的に被害防止活動を行えるよう体制整備を行った。
- 3 被害防止計画の目標達成状況
被害防止計画の策定にあたり、令和元年度の被害金額及び被害面積を令和4年度までに3割削減する目標を設定し、イノシシ電気柵やサル用防護柵の設置、有害捕獲活動の推進により、目標を達成することができた。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量 (※R2～R4)	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見
										被害金額(千円)			被害面積(ha)				
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
金沢市鳥獣被害防止対策協議会	市内一円	R4	カモ類、キジ、カラス、イノシシ、ハクビシ、タヌキ、アナグマ、クマ、ニホンザル、ニホンジカ	侵入防止柵の設置、捕獲檻の設置、モンキードッグ養成、ICT等新技術の活用、有害鳥獣捕獲	・侵入防止柵設置 イノシシ電気柵 156.4km、 イノシシ恒久柵 6.68km、 サル用防護柵 17.41km、 クマ電気柵 6.6km ・捕獲檻 イノシシ用16基、 サル用33基 ・有害鳥獣捕獲 イノシシ 2,588頭、 ニホンザル 235頭	金沢市鳥獣被害防止対策協議会			金沢市鳥獣被害防止対策協議会が中心となって、計画的に侵入防止柵を整備すると共に、捕獲檻による有害鳥獣捕獲、農地と林地の境界域での緩衝帯設置等総合的な被害防止対策に取り組み、地元農業者が主体的に被害防止活動を行えるよう、集落ぐるみの獣害対策を推進した。 農地への侵入経路付近等に設置した捕獲檻により、令和2年度から令和4年度の有害捕獲頭数はイノシシ2,588頭、ニホンザル235頭となった(交付金対象外含む)。	17,230	12,133	169%	23.26	11.33	219%	イノシシ、ニホンザルともに、侵入防止柵の整備、緩衝帯の設置、有害捕獲活動の推進により、農作物被害を抑えることができた。 引き続き侵入防止柵の整備や捕獲の強化、柵や檻のきめ細やかな管理等の対策により、農作物被害の低減を図っていく必要がある。	イノシシ、ニホンザルの生息数や生息範囲は年々増加、拡大しており、電気柵等の防護対策に加え、捕獲により個体数を減らすことが鳥獣被害の軽減のために必要である。(金沢市鳥獣保護管理員 村信夫 氏)

注:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。